

早稲田大学大学院経済学研究科
2019 年 9 月入学試験要項

博士後期課程一般入学試験

早稲田大学大学院 経済学研究科	
電話/Fax	TEL. 03-3203-8560 FAX. 03-3204-8957
メールアドレス	gse-ml@list.waseda.jp
URL	https://www.waseda.jp/fpse/gse/
開館時間	月曜日～土曜日 9時から17時まで 日曜・祝祭日 閉室（但し、授業実施日は開室）
場所	〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 3号館 10階 政治経済学術院事務所内

< 目次 >

1. 募集・試験日程	3
2. アドミッションポリシー	4
3. 出願資格	4
4. 募集人員	5
5. 出願方法	7
6. 出願書類	12
7. 受験票の送付	16
8. 選考	17
9. 合格者発表	17
10. 入学手続	17
11. 研究領域と研究指導教員選択	18

< 付録 >

特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度について	20
----------------------------------	----

< 受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合 >

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科事務所にお問い合わせください。また、不慮の事故や急な発病等が出願後に起こり、受験や就学に支障をきたす恐れがある場合にも、速やかにお知らせください。

< 個人情報の取扱について >

当学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施・合格者発表・入学手続およびこれに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行ないます。

また、上記業務の全部または一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。なお、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

1. 募集・試験日程



2. アドミッションポリシー

当研究科では、現実の経済問題とその歴史に対する興味をもち、それらを理論的実証的歴史的に解明しようという姿勢を持った学生を選抜するという理念の下に入学試験を行っています。

とりわけ博士後期課程では、経済学で国際的な学術貢献ができる研究者の養成を重視しています。そのため特に重視されるのは専門分野において論文を執筆できるだけの基礎学力と、論文の題材を発見し、執筆させる知的好奇心、探究心、持続力です。前者の基礎学力としては論理的思考能力、数理的・統計的思考能力、語学力などが問われます。後者の知的好奇心と探究心については、経済理論、計量・統計、経済政策、公共政策、経済史、国際経済の6分野において、学問のフロンティアに挑戦する研究者に必要な資質が問われます。

3. 出願資格

以下の①～⑥のいずれかに該当する者

- ① 修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を得た者、または 2019 年 9 月までに取得見込の者。
- ② 外国において修士もしくは修士（専門職）の学位またはこれに相当する学位を得た者、または2019年9月までに修得見込みの者。
- ③ 文部科学大臣の指定した者。
- ④ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2019年9月までに取得見込みの者。
- ⑤ 当研究科において、個別の入学資格審査により、修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2019年9月までに24歳に達する者

＜出願資格に関する注意事項＞

- ・①については、日本において与えられる学位です。
- ・②に該当する外国籍の者で、日本語で研究指導（日本語学位プログラム）を希望する場合は、P. 15 の日本語に関する語学能力の所定基準を満たす必要があります。
- ・③に該当するかどうかについては、当研究科事務所までお問い合わせください。

4. 募集人員

専攻名称	コース名称	研究領域名称	研究指導名称	定員
経済学専攻	経済学コース	経済理論	理論経済学	若干名
			数理経済学*	
			実験経済学*	
			経済学説史*	
		統計・計量分析	計量経済学	
			統計学	
			経済統計	
			数量経済政策	
			産業エコロジー	
			金融工学	
			ファイナンス	
			応用マクロ計量経済学	
		経済史	西洋経済史*	
			日本経済史	
			国際日本経済史	
			アジア経済史	
		経済政策	経済政策理論*	
			産業組織論*	
			農業経済学	
			金融論	
			政治経済学方法論	
			応用マクロ・ファイナンス	
		公共政策	社会政策	
			社会保障*	
			労働経済学	
			公共経済学	
			財政学*	
			環境経済学	
			公共政策*	
			医療経済学	
			政治経済学	
		国際経済	国際経済論	
			開発経済論	
			アジア経済論*	
			国際政治経済学（経済）	

（国際政治経済学コースは次頁へ）

専攻名称	コース名称	研究指導名称	
経済学専攻	国際政治経済学コース ※本コースには研究領域の区別はありません。	国際経済論	若干名
		開発経済論	
		アジア経済論*	
		国際政治経済学（経済）	
		数量経済政策	
		農業経済学	
		政治経済学方法論	
		公共経済学	
		環境経済学	
		公共政策*	
		政治経済学	

（*）印がある研究指導は 2019 年度 9 月入学の募集は行いません。

※研究指導内容および募集の詳細については、別掲の「研究指導一覧表および研究指導の内容（博士後期課程用）[2019 年度版]」を参照してください。

5. 出願方法

（1）出願区分

	国内出願	国外出願
対象	出願時に日本国内に居住する者	出願時に日本国外に居住する者
検定料	30,000 円	5,000 円
資格確認	志願票に記載された「現住所」から判断する。	

（2）出願期間

2019 年 3 月 18 日 ～ 2019 年 3 月 22 日

※締切日消印有効（ただし、日本国外からの郵送等の場合は締切日必着）。

（3）出願方法

出願方法：出願区分によって下記の出願方法で出願書類を送付してください。

【国内出願の場合】

市販の封筒（角型 2 号サイズ）に出願書類一式を封入し、所定の「出願書類提出用宛名ラベル」を封筒の宛名面に貼付の上、必ず郵便局で[簡易書留郵便]にて送付してください。なお、出願締切日直前に送付する場合は、[簡易書留・速達便]で送付してください。締切日当日の消印のものを受付けます。

【国外出願の場合】

「国際スピード郵便（EMS）」や国際宅配業者等で送付してください。その際の宛先は「出願書類提出用宛名ラベル」の住所をラベルに転記してください。出願締切日までに当研究科に到着した願書のみ受け付けます。国や地域によっては配達に時間を要するところがありますので、時間に余裕を持って送付するようにしてください。

※出願書類の提出方法は上記のみとなります。直接持参は一切認めません。

※出願書類の到着の有無に関する問い合わせにはお答えできません。書類到着の確認は、国内出願の場合は郵便追跡サービス、国外出願の場合は送付した EMS、国際宅配業者等の追跡サービスを利用のうえ確認を行ってください。

(4) 入学検定料

① 納入期間： 2019 年 3 月 11 日～3 月 22 日

② 納入金額： 入学検定料は、出願区分により異なります（国籍は問いません）。

出願区分	国内出願	国外出願
入学検定料	30,000 円	5,000 円

※出願時の居住地の確認のため、日本国外居住者については、日本国外に居住していることを証明する書類を提出していただく場合があります。

※入学検定料の納入後に出願区分（国内／国外）を変更することはできません。

③納入方法： 入学検定料の納入は、日本国内または国外より出願前に必ず行なってください。入学検定料を納入していない場合、出願は受け付けません。 なお、以下のいずれかに該当する場合は、入学検定料が免除となりますので支払わないでください。

- ・早稲田大学大学院経済学研究科、政治学研究科、もしくは公共経営研究科の修士課程修了と同時に経済学研究科の博士後期課程入学を志願する場合。
- ・早稲田大学大学院経済学研究科、政治学研究科、もしくは公共経営研究科の修士課程修了者が、次年度以降に当学経済学研究科、政治学研究科、もしくは公共経営研究科の科目等履修生となり、その後引き続き経済学研究科の博士後期課程に入学を志願する場合。ただし、当研究科修士課程入学後 4 年以内に入学を志願する場合に限ります。
- ・[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度]に該当する場合（詳細は P. 20 参照）。

【日本国内から納入する場合】

A. コンビニエンスストアでの支払い

- ・入学検定料の支払いをコンビニエンスストアを利用する場合は、P. 10 の「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」に従い、インターネットの支払サイトおよび所定のコンビニエンスストア店頭にある情報端末で支払手続を行ってください。支払終了後、「入学検定料取扱明細兼受領書」の収納証明書を切り取って志願票の所定欄に貼付し、出願書類とともに提出してください。
- ・入学検定料の支払は、検定料振込期間内のみ可能です。それ以外の期間での支払はできません。
- ・支払は、土・日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。ただし、納入受付開始日は 10 時から、納入受付終了日の Web サイトでの申込みは 23 時まで、コンビニエンスストア店頭にある情報端末の受付は 23 時 30 分までとなります。
- ・コンビニエンスストアでの支払に際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、必ず情報端末に志願者本人の情報を入力するようにしてください。
- ・検定料支払は原則としてコンビニエンスストアでの支払のみを受け付けますが、お住まいの地域に所定のコンビニエンスストアがないなどの理由により支払が困難である場合には、事前に当研究科事務所までご連絡ください。
- ・e-shiharai.net/の「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	経済学研究科	
第二選択	2019 年 9 月入学	
第三選択	博士後期課程	
第四選択	(国内出願) の場合	一般入試／外国学生 (9 月入学) 30000 円
	(国外出願) の場合	一般入試／外国学生 (9 月入学) 5000 円

B. クレジットカード・中国オンライン・アリペイ決済

- ・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いを利用する場合は、P. 11 記載のクレジットカード・中国オンライン・アリペイの支払方法を参照して、インターネットの支払いサイトにアクセスをして所定申込手続を完了させてください。
- ・入学検定料の支払は、検定料振込期間内のみ可能です。それ以外の期間での支払はできません。

- ・支払いに使用するカードは受験生本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続きをする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。
- ・支払い終了後、決済完了が表示されたホームページを印刷し、志願票 にクリップ留めし提出してください。
- ・e-shiharai.net/card/の「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	経済学研究科	
第二選択	2019年9月入学	
第三選択	博士後期課程	
第四選択	(国内出願)の場合	一般入試／外国学生(9月入学) 30000円
	(国外出願)の場合	一般入試／外国学生(9月入学) 5000円

【日本国外から納入をする場合】

A. 外国送金による支払い

下記の要領に従い、金融機関より外国送金してください。なお出願の際は、銀行所定の外国送金依頼書のコピーを出願書類に同封してください。

(外国送金要領)

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
振込銀行手数料	依頼人負担 (Payer's Responsibility)
円為替手数料	受取人負担 (Payee's Account)
送金額	入学検定料に円為替手数料を加えた金額 ①国外出願者の場合：7,000 円 (検定料 5,000 円＋円為替手数料 2,000 円) ②国内出願者の場合：32,500 円 (検定料 30,000 円＋円為替手数料 2,500 円) ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で手続き時にお支払いください。
送金目的	入学検定料 (Screening Fee)
送金先銀行名	三菱 UFJ 銀行 (The Bank of Mitsubishi UFJ, Ltd.)
支店名	江戸川橋支店 (Edogawabashi Branch)
口座番号	0035967FHF ※口座番号欄には数字 7 文字とアルファベット 3 文字を記入してください。
受取人	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所	〒112-0014 東京都文京区関口 1-48-13 (1-48-13, Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 1120014, Japan)
スウィフトコード	BOTKJPJT
備考	必要連絡事項 (Message to Payee, if any) には受験者本人の氏名 (Applicant's name) の前に "32GSE" を必ず記入してください。

B. クレジットカード・中国オンライン・アリペイ決済

- ・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いを利用する場合は、P. 11 のクレジットカード・中国オンライン・アリペイの支払方法を参照して、インターネットの支払いサイトにアクセスをして所定申込手続を完了させてください。
- ・入学検定料の支払は、検定料振込期間内のみ可能です。それ以外の期間での支払はできません。
- ・支払いに使用するカードは受験生本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続きをする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。
- ・支払い終了後、決済完了が表示されたホームページを印刷し、志願票 にクリップ留めし提出してください。
- ・e-shiharai.net/card/の「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	経済学研究科	
第二選択	2019年9月入学	
第三選択	博士後期課程	
第四選択	(国内出願) の場合	一般入試／外国学生 (9月入学) 30000円
	(国外出願) の場合	一般入試／外国学生 (9月入学) 5000円

早稲田大学 クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カード・アリペイを
利用して検定料のお支払が可能です。



Web申込み・オンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/card/>

端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



当学HP
からも
アクセス
できます!

1. トップページ

お支払い先を選択してください。

2. 学校選択

学校一覧から、「該当する学校名」を選択。

3. 学校案内

注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。

4. カテゴリ選択

第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※American Expressの場合は15桁
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
スマートフォンをご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カード・アリペイの場合

それぞれの専用画面に推移します。
画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



出願

印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



郵便局から
郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払可能です。
支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カード・アリペイで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 29,999 円	555 円
30,000 円 ～ 49,999 円	987 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,420 円
70,000 円 ～ 99,999 円	1,800 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,037 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,571 円
300,000 円 ～	4,320 円

クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

6. 出願書類一覧

下記の①～⑥の○印および該当するものを提出してください。

	提出物	対象者	備考
①	入学志願票 【所定用紙】	全員	・「入学志願票記入上の注意（別紙）」に従って記入してください。記入は自筆・タイピングどちらでも可とします。 ・出願書類提出後の試験項目変更は一切認めません。 ・「入学検定料取扱明細兼受領書」の「収納証明書」は、コンビニエンスストアでの検定料支払後、志願票の所定欄に貼付し提出してください（コンビニエンスストア以外の外国送金、クレジットカード・中国オンライン決済による検定料支払いを行った場合は貼付せず同封してください）。
②	研究計画書 【所定用紙】	全員	・研究計画書の字数は 4,000 字程度（＋参考文献、ワープロ可）（英語の場合は 2,000 語程度）にしてください。 ・紙媒体 1 部のほかに電子ファイル（PDF ファイルまたは doc ファイル）を提出してください。 ・電子ファイルを以下のメールアドレスに、メール添付により送信してください。 ファイル名：氏名（ローマ字）_researchplan.pdf （例：waseda_taro_researchplan.pdf） メールアドレス：gse-researchplan@list.waseda.jp タイトル：2019 年度博士 9 月入試研究計画修士論文送付 メール本文：氏名、研究テーマ
③	修士論文概要書 【所定用紙】 紙媒体・ 電子ファイル 各 1 部	全員	・概要書の字数は 2,000 字程度（A4 横書き、ワープロ可）（英語の場合は 1,000 語程度）にしてください。 ・修士論文に代わって紀要等に掲載された公刊論文（投稿予定も可）等を提出する場合は、その論文の概要書を提出してください。 ・紙媒体 1 部のほかに電子ファイル（PDF ファイルまたは doc ファイル）を提出してください。 ・電子ファイルを以下のメールアドレスに、メール添付により送信してください。 ファイル名：氏名（ローマ字）_outline.pdf（例：waseda_taro_outline.pdf） メールアドレス：gse-researchplan@list.waseda.jp タイトル：2019 年度博士 9 月入試修士論文概要書送付 メール本文：氏名、研究テーマ
④	修士論文 （全文のコピー） 紙媒体・ 電子ファイル 各 1 部	該当者のみ	・当研究科修士課程修了（見込）者は提出不要です。 ・英語学位プログラム希望者に限り、英語で書かれたものを提出必須とします。 日本語学位プログラム希望者は、和英の別を問いません。なお、日本語もしくは英語以外で書かれた場合、全文を和訳または英訳した上で提出してください。 ・提出された論文は返却しませんので、必ずコピーを提出してください。 ・修士論文に代わって紀要等に掲載された公刊論文（投稿予定も可）等を提出する場合は、その論文の全文のコピーを提出してください。 ※次の「A」または「B」に該当する者は、修士論文の代わりに、紀要等に掲載された公刊論文（投稿予定も可）等を提出してください。なお、日本語もしくは英語以外で書かれた場合、全文を和訳または英訳した上で提出してください。 A. 課程修了以降に執筆した論文により審査を希望する者。 B. 「他大学・当学の他の研究科および外国の大学において、修士の学位（またはこれに相当する学位）を得た者」のうち、修士課程（専門職学位

④	修士論文 (全文のコピー) 紙媒体・ 電子ファイル 各1部	全員	課程)を修了した(もしくは修了見込の)研究科が定める修了要件に修士論文執筆および合格が含まれていなかった等の理由により、修士論文が提出できない者。 電子ファイルを以下のメールアドレスに、メール添付により送信してください。 ファイル名:氏名(ローマ字)_mastersthesis.pdf (例:waseda_taro_mastersthesis.pdf) メールアドレス:gse-researchplan@list.waseda.jp タイトル:2019年度博士9月入試修士論文送付 メール本文:氏名、研究テーマ
⑤	修士論文指導教員 (またはそれに代わるもの)の 所見書	該当者のみ	- 早稲田大学大学院経済学研究科の修士課程修了(見込)者は提出不要です。 - 修士論文の指導教員による所見書(書式自由)を提出してください。 - なお、修士論文以外の論文による審査を希望する場合は、元指導教員またはそれに代わる者による推薦書を提出してください。 【修士論文指導教員(またはそれに代わる者)が提出する場合】 提出は、郵送・メールどちらでも可とします。郵送の場合は、厳封をし、修士論文指導教員(またはそれに代わる者)が出願者の名前を封筒に書くよう依頼をしてください。メールの場合は、所見書(または推薦書)(PDFファイル)を所属機関のメールアドレスから事務所宛に送ってください。論文指導教員(またはそれに代わる者)のご事情により、出願期間内の提出が難しい場合は、入試要項掲載後から受付可能です。出願期間後の提出は認められません。 【出願者が提出する場合】 修士論文指導教員(またはそれに代わる者)に厳封を依頼し、厳封のま他の出願書類とともに提出してください。また所見書(または推薦書)の封筒に、出願者ご自身の名前を書いてください。メールでの提出は認められません。
⑥	修了証明書・ 学位取得証明書	該当者のみ	- 早稲田大学大学院経済学研究科の修士課程修了者は不要です。 - 必ず証明書の原本を提出してください(コピーは不可)。 - 修了見込の場合は、修了見込証明書を提出し、合格後、入学手続を行う際に修了証明書を必ず提出してください。 ※修了見込者の場合は、入学手続時に最新の成績証明書の提出が必要となります。
⑦	学歴認証報告書 (英文版)	該当者のみ	- 中国の教育機関を卒業された方は、CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する、英文の「学歴認証報告書」をCHESICCから〇〇〇研究科事務所(gse-ml@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。 - 詳細についてはCHESICCのWebサイトをご確認ください… https://www.chsi.com.cn/en/pvt/ - 必ず出願期間締切日までに本学へ「学歴認証報告書(英文版)」が届くよう、余裕を持って準備してください。 - CHESICCから直接メールが届く「学歴認証報告書(英文版)」のみ有効とします。
⑧	成績証明書	全員	- 必ず証明書の原本を提出してください(コピーは不可)。 - 成績証明書は、大学院以上の全学期の成績が記載されたものを提出してください。Double Degree Program等の場合もすべて提出してください。 - 休学・兵役等の期間があった場合は、その旨を証明する大学または公的機関発行の証明書を提出してください。 - 飛び級または繰り上げ卒業により、飛び級した学年、理由などが成績証明書に記載されていない場合は、それを証明する大学作成の書類を別途提出してください。

⑨	カラー写真	全員	・1枚提出してください。 ・写真は、タテ4cm、ヨコ3cm（枠無し）上半身、正面、無帽、無背景で、出願前3か月以内に撮影したカラー写真とします（入学手続き時に同一の写真が別途3枚必要となりますので、提出できるようにしておいてください）。また、眼鏡の有無、髪型等、試験場において間違われるような写真は不可とします。写真は、裏面に氏名をボールペンで記入し、志願票にクリップで留めてください。
⑩	語学能力証明書	該当者のみ	・母国語が英語で学校教育を修了した者、および英語圏の高等教育機関（大学以上）において学位を取得した者は提出不要です。ただし、成績証明書等で確認できることが必要です。詳細については、当研究科までお問い合わせください。 ・下記の方法により、「TOEFL（iBT または PBT）、TOEIC、IELTS」のうちのいずれか1点のスコアカードを提出してください（ただし、TOEIC（IP）は認めません）。 ・出願期間の最終日より遡って2年以内に受験したもののみを有効とします。 【TOEFL】 ・スコアカードの原本（コピー可）を提出してください・Official Score Report が試験実施団体から、大学へ直接到着するように依頼することも可能です。ただし、<u>出願締切日までに</u>到着しない場合は、受験不可となりますのでご注意ください。 ・TOEFL 団体ウェブサイト http://www.ets.org ・Official Score Report（TOEFL）の送付に必要なコード（Institution Code）：1577 【TOEIC】 スコアカードの原本（コピー可）を提出してください。 【IELTS】 ・スコアカードの原本（コピー可）を提出してください。 ・Test Report Form が試験実施団体から、大学へ直接到着するように依頼することも可能です。ただし、<u>出願締切日までに</u>到着しない場合は、受験不可となりますのでご注意ください。 ・IELTS 団体ウェブサイト www.ielts.org Test Report Form（IELTS）送付先は以下を記入してください。 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学大学院経済学研究科入試担当
⑪	Web 会議システム 利用面接試験に関する同意書 【所定用紙】	該当者のみ	面接試験方式に Web 会議システムを利用した面接試験を選択する場合、必ず提出してください。面接試験に関する詳細は P.16 より確認してください。
⑫	日本語能力試験 または 日本留学試験いずれかの証明書・ スコアカード	該当者のみ	・日本語での研究指導（日本語学位プログラム）を希望する外国学生は、以下のいずれか1点を提出してください。有効期限は定めません。 【日本語能力検定試験（JLPT）】 1級/N1級合格の「合否結果通知書」（コピー可） 【日本留学試験】 「日本語」科目の合計点（「記述」を除く）260点以上の「成績通知書」（コピー可）
⑬	在留カードの コピーまたは 住民票の写し	該当者のみ	・外国人学生の国内出願者（在留資格が「短期滞在」の者は除く）は、居住する区・市役所等で発行される有効な在留カード、または住民票の写しのいずれか1点を提出してください。

⑭	提出書類返還 依頼書 【所定用紙】	該当者 のみ	・再発行が不可能なものに限り、書類を返還いたします。返還を希望する書類とその理由を明記して、他の出願書類と同封してください。当研究科が再発行不可能だと判断したもののみ、返還いたします（返還書類の到着には1～2か月かかりますので、予めご了承ください）。なお「公証書」「成績証明書」「語学能力証明書」に関しては、一切、返還を行いません。
⑮	出願書類提出用 ラベル 【所定用紙】	該当者 のみ	・国内から郵送する方は、「出願書類提出用ラベル」を封筒に貼り付けたうえで、出願書類一式を「簡易書留便」で郵送してください。なお、日本国外から郵送等をする場合は、ラベルに記載された住所を国際スピード郵便（EMS）、国際宅配業者等のラベルに転記のうえ送付してください。
⑯	提出書類チェック リスト 【所定用紙】	全員	・チェックリストに記されている書類が全て揃っているかを確認し、出願書類とともに同封してください。なお、不備書類がある志願者は、不備書類リストに書類名および提出遅延の理由を記載してください。

（１）出願上の注意

- ・【所定用紙】フォーマットは当研究科ホームページからダウンロードしてください（A4 サイズの用紙に印刷してください）。
 - ・出願書類は、日本語での研究指導（日本語学位プログラム）を希望する場合は全て日本語で、英語での研究指導（英語学位プログラム）を希望する場合は全て英語で作成してください。証明書を日本語または英語で発行できない場合は、自分で日本語または英語の翻訳文を作成し、大使館・公証所等による翻訳文が正しいことを証明する公証書を添付のうえ、書類を提出してください。
 - ・出願書類の作成にあたっては、黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。
 - ・所定用紙の※印のある欄には記入しないでください。
 - ・改姓のため、業績審査に関する論文・証明書等に記載されている氏名が異なる場合は、適宜、戸籍抄本等を添付してください。
 - ・出願書類は出願者によって一部異なります。出願書類一覧で必要な提出書類を確認してください。国内出願の外国籍の者で、出願時に入学時以降まで有効な在留資格を有していても、個々の事情により、入学後の在留資格の更新・変更が許可されない場合があります（現在保持している在留資格の根拠となる活動を、正当な理由なく継続して3か月以上行っていない場合など）。入学後の在留資格更新・変更の取得については、当学は一切保証できません。必ず入国管理局に確認し、各自の責任において出願してください。
 - ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受け付けないことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また当研究科から連絡があった時はすみやかに指示に従ってください。
 - ・一度提出した書類・資料の返還は原則として行いません。ただし、再発行が不可能な書類に限り書類の返還を行います。希望する場合は必ず「提出書類返還依頼書」を記入し、出願書類に同封してください。「提出書類返還依頼書」が同封されていない場合は、書類の返還は一切行いません。
 - ・一度提出した入学検定料は原則として返還できません。ただし、以下のケースに該当する場合には、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は当研究科事務局までご連絡ください。
 - 1) 検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった
 - 2) 出願資格を満たさなかった、または、出願締切後に書類を提出した
- ※ただし、海外の金融機関口座へ検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担 となります。
- ・出願後に志願票に書かれた住所・電話番号・Eメールアドレス等を変更した場合は、速やかに当研究科事務局に連絡をしてください。志願票に書かれた情報を変更したことが原因で当学からの連絡が届かなかったとしても、当学は一切の責任を負いません。

7. 受験票の送付

出願受付後、出願が受理された者は、国内出願者は志願票に記載された住所宛に郵送、国外出願者は E-mail で受験票を 4 月 4 日に送付します。4 月 12 日になっても受験票が届かない場合は、直ちに当研究科事務所までお問い合わせください。受験票は、合格発表、口頭試問等で必要となります。また、入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

8. 選考

(1) 第 1 次選考に関して

- ・出願者全員に修士論文審査、外国語審査を行います。
- ・受験時の交通・宿泊費については各自で手配してください。

(2) 第 2 次選考（口頭試問）に関して

- ・受験時の交通・宿泊費については各自で手配してください。・面接時間は 20 分を予定しています。
- ・日本語学位プログラムを希望する者は日本語で、英語学位プログラムを希望する者は英語で回答してください。
- ・第 1 次選考合格者に対し、面接試験を行います。来日の上、早稲田大学にて実施する対面の面接試験、または本学の指定する Web 会議システムを利用した面接試験を選択していただきます。試験会場には受験票を持参してください。

【東京（早稲田大学 早稲田キャンパス）会場】

面接地へ渡航する際の在留資格等の認可については、当学は一切保証できません。必ず入国管理局に確認し、各自の責任において出願してください。

【Web 会議システムを利用した面接試験】

Web 会議システムを利用した面接試験においては、志願者ご自身のインターネット環境、PC や音声機器等を使用する必要があります。ご自身がこれらの機器を利用可能な状況にあることを必ず別紙「Web 会議システム利用面接試験要領」にて確認の上、出願してください。

Web 会議システムを利用した面接試験においては大学が指定する以下の日程において事前の接続テストを行います。接続テストを受けない面接試験の実施は認められませんのでご注意ください。接続テストや試験当日において、接続環境や機材環境その他不測の事態により面接試験の実施が困難と判断される場合は欠席とみなすことがあります。この点を十分理解いただいた上でご出願ください。

(3) 試験に関する注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。当学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となる場合があります。
2. 次のことをすると不正行為となる場合があります。
 - ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わるなど）。
 - ②試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ③試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
 - ④試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - ⑤試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑥試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑦志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑧その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。

- ・別室での受験を求めること。
4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
- ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

【早稲田大学入学試験実施に関して】

早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。

あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行ないません。
- ②試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

9. 合格者発表

第1次選考合格者発表：2019年4月22日

最終合格者発表：2019年5月24日

- ・合格者発表はホームページで行ないます。HP：<https://www.waseda.jp/fpse/gse/>
- ・電話による可否に関するお問い合わせには応じることができません。
- ・最終合格者には、志願票に記載された住所宛に入学手続書類一式を郵送します。合格者発表日から5日経っても書類が届かない場合、直ちに当研究科事務所までお問い合わせください。

10. 入学手続

入学手続期間：2019年5月29日～6月14日

入学手続方法および手続に必要な書類の詳細については、合格者に交付される「入学手続の手引き」に掲載いたします。

・入学金・学費・諸会費

<2019年度9月入学者 入学金・学費・諸会費>

(単位：円)

年度	納入期	入学金	学費		諸会費			合計
			授業料	演習料	学生健康増進 互助会費	学会 入会金	学会 会費	
初年度	2019年度秋学期	200,000	224,000	1,500	1,500	2,000	750	429,750
	2019年度春学期	—	224,000	1,500	1,500	—	750	227,750
	計	200,000	448,000	3,000	3,000	2,000	1,500	657,500
第二年度	2020年度秋学期	—	324,000	1,500	1,500	—	750	327,750
	2020年度春学期	—	324,000	1,500	1,500	—	750	327,750
	計	—	648,000	3,000	3,000	—	1,500	655,500
第三年度	2021年度秋学期	—	324,000	1,500	1,500	—	750	327,750
	2021年度春学期	—	324,000	1,500	1,500	—	750	327,750
	計	—	648,000	3,000	3,000	—	1,500	655,500

(注)

1. 当学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度当学に入学的場合、入学金が免除されます。
2. 当学政治経済学部、大学院政治学研究科または経済学研究科の出身者は、学会入会金が免除となります。
3. 演習料・諸会費については、変更される場合があります。
4. 一度提出した書類および納入した入学金、学費・諸会費（入学時）は、原則として返還しません。

ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合には、学費・諸会費（入学時）のみ返還の対象となります。

また、早稲田大学の複数研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、既に納入した入学金、学費・諸会費（入学時）を入学希望研究科の費用に振り替えることができます（入学手続期間が全く重ならない研究科間に限られます）。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

1 1. 研究領域と研究指導教員選択

・研究指導教員（以下「指導教員」という）について

経済学コースでは経済理論、統計・計量分析、経済史、経済政策、公共政策、国際経済の6つの研究領域を単位として、国際政治経済学コースではコース単位として、教育および研究指導を行っています。研究指導は、主指導教員、副指導教員の2名の指導教員を中心とした体制により、多面的かつ複眼的な場を設けています。具体的な研究領域および研究指導内容については、別掲「研究指導一覧表および研究指導の内容（博士後期課程用）」を参照してください。

①指導教員の選択について

出願時の志願票に以下の項目を記入の上、出願してください。

・志望するコース・研究領域（必須）

・志望する主指導教員（必須）

※コース・研究領域は、主指導教員が所属する研究領域になります。

・志望する副指導教員（必須）

副指導教員は、第1希望は必ず指定してください。第2希望がある場合は、指定してください。

※副指導教員は、必ずしも主指導教員と同じ研究領域に属している必要はありません。

・入学試験の合格者には、主指導教員1名および副指導教員1名を通知します。副指導教員を第2希望まで希望していた場合でも1名になります。また選考により指導教員を指定して合格とすることがあります。

②入学後

博士後期課程在学中は、主および副の指導教員から研究指導を受けてください。指導教員の変更を希望する場合は、指導教員の変更申請を行い本研究科の承認を得る必要があります。変更申請は毎学期ごとに受付けます。

・修了要件

・研究指導および博士論文審査および試験への合格

通常3年以上在学し指導教員による研究指導を受けた上、中間報告会を行い、博士学位申請論文の審査および試験に合格することにより、課程博士学位を取得し、修了となります。

※詳細および手続きについては、入学後に配付される研究科要項を確認してください。

[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度]

[Screening fee waiver program for applicants from specified countries]

1. 概要／Outline

当学学部または研究科への入学を希望する出願者が、当学が指定する国に居住しかつ国籍を有する場合、本人からの申請に応じて検定料を免除します。

Applicants who wish to be admitted into an undergraduate or graduate school of Waseda University are eligible to apply for a screening fee waiver if they reside in one of the countries designated by Waseda University AND hold nationality of one of those countries.

2. 対象者／Eligibility

次の条件を全て満たす場合。The following conditions must be fulfilled:

1) OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方。ただし、居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

* 対象国は下部参照。

* 日本国内に居住する場合は対象外とします。

1) The applicant must reside in one of the countries classified as "Least Developed Countries" or "Other Low Income Countries" in the list of ODA recipients as published by OECD/DAC AND hold nationality of one of those countries (the applicant's country of residence and nationality do not necessarily have to be identical) .

* For the list of eligible countries, refer to "Eligible Countries" below.

* Applicants residing in Japan are not eligible.

2) 重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

2) Applicants with dual nationality are only eligible if both nationalities are included in the list of eligible countries described in 1) above .

3. 手続／Procedures

当学学部または研究科を志願する際、出願書類として提出をもとめている検定料振込証明書（海外送金依頼書のコピーなど）の代わりに以下の書類を同封して申請してください。事後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

When applying to an undergraduate or graduate school of Waseda University, please enclose the following documents with the other application documents instead of the certificate of payment for the screening fee (copy of the remittance form etc.) . The application for the screening fee waiver program must be made along with the application for admission. Applications made afterward will not be accepted under any circumstances.

1) 検定料免除措置申請書（所定様式）

1) Application Form for Screening Fee Waiver

2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

2) Copy of passport (including all details of the applicant)

* 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。なお、本免除申請を行う前に支払ってしまった場合には、検定料の返還は行いません。

* Applicants who apply for the screening fee waiver program are not required to pay the screening fee. However, if payment was made before the application for the screening fee waiver program, the screening fee will not be reimbursed.

* 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

* In the event that the applicant is found to be ineligible for the screening fee waiver program or have made a false claim, the application for admission to Waseda University itself might be revoked immediately.

[対象国/Eligible Countries]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, D.P.R.Korea, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia, Zimbabwe

2019年度 早稲田大学検定料免除措置申請書

Application Form for Screening Fee Waiver, 2019 Waseda University

申請日 : 年 月 日
Date of Application: Year Month Date

早稲田大学の検定料免除を希望する場合は、本様式を作成し、他の書類と一緒に提出してください。また、本申請をする場合、所定の検定料の支払は不要です。万が一、支払った場合でも、返金は出来ませんので注意してください。

If you would like to apply for a screening fee waiver, please submit this application form with the other required documents. If you apply for a screening fee waiver, you are not required to pay the screening fee. Please note that you will not be reimbursed under any circumstances once the payment of screening fee has been made.

出願学部・研究科 : _____
Name of the Undergraduate School/ Graduate School which you are applying

出願者氏名 : _____
Applicant's Name 姓 (Family) , 名 (Given & Middle)

国 籍 1 : _____
Nationality 1

国 籍 2 : _____
Nationality 2 (for applicants with dual nationality)

現 住 所 : _____
Current Address

出願者署名 : _____ 印
Applicant's Signature Seal (if available)

[対象国/Eligible Countries]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンディ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、馬拉ウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, D.P.R.Korea, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia, Zimbabwe

早稲田大学大学院 経済学研究科

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

Tel. 03-3203-8560 Fax. 03-3204-8957

E-mail. gse-m1@list.waseda.jp